



令和5年度
学校だより

Our Team 山川中



30日 第9号
文責 松本和基

期末テストが終わり、1学期のゴールが見えてきました。やり残したことはありませんか？夏休みに入る前にやっておかねばならないことはしっかりやり遂げて目標を達成しましょう。毎日梅雨らしい蒸し暑い日が続いています。登下校中や体育の時間はできるだけマスクを外して、熱中症のリスクを下げてくださいね

6月19日（月）32学級 英語の研究授業



日本に観光にきて、道に迷っている外国人に道案内をするという内容の授業を参観しました。余計な情報を入れず、ポイントを絞って説明するよう考えて、実践練習を繰り返していました。外国人観光客が戻ってきた今、いかにもありそうなシチュエーションですね。



6月23日（金）人権講演会 3年生



阿南市から乾和彦先生をお招きして人権講演会を開きました。同和問題をはじめとする様々な人権課題について、歌を交え優しく語りかけてくれていました。3年生も最後まで真剣な態度で聴くことができていて素晴らしかったです。乾先生も喜んでいました。

私は人権講演会を聴いて、コロナ差別や福島差別をはじめあらゆる差別を解決するためには「差別のしくみ」を見破る力が必要だということを学ぶことができました。いろいろな差別は根拠のない思い込みや偏見からできていることを知ることができたので、まずは自分が絶対に差別をしないために思い込みや偏見で人に何かを言ったり、したりすることをしないようにしようと思いました。同和問題をはじめすべての人権問題を自分の問題として捉える生き方、解決するための行動できる生き方、解決するための仲間の輪を広げる生き方のライフワーク、フットワーク、ネットワークを大切にすることが大事だと思ったのでこれからしていけるように努力したいです。差別をなくそうとだけ思っているだけでなく、行動にうつせるようにしたいです。あと、自分から差別がダメだといえるような人になりたいです。

6月23日（金）2年生は健詳会より講師の先生をお招きし、介護出前授業を行いました。

介護出前授業を受けて私は、介護者が高齢者のできることを奪わない。という考え方がいいなと思いました。この出前授業前に「寂しさの影に・・・」という作文を勉強しました。そこでは家族のみんながおばあちゃんのしようとしていることに全て否定的で、おばあちゃんに何もさせていませんでした。しかし、「私もいつか通る道」という人権作文を読んで考え方が変わったそうです。私は「寂しさの影に・・・」の家族たちが作文を読んで、おばあちゃんの行動を制限しなくなってよかったと思います。今日勉強した道具の中に自助具というものがありました。あまり手が自由に動かない人や、腰やひざが痛くて曲がらない人のためにある道具です。その道具を使うこと今までできなかったかもしれない、靴下を履く作業や料理といった日常に必要不可欠なことができるようになるのです。このような道具があるだけで視点が180度がらりとかわるのです。この出前授業で自助具という存在が知れてよかったと思います。これからうちのおじいちゃんおばあちゃんに介護が必要になったらできることまでとるのではなく、できないことに寄り添って介護してあげたいと思いました。

